

KOKORO BOOKLET のこす言葉 シリーズ 第4弾!! 5月8日発売

ルース・スレンチェンスカ

——94歳のピアニスト ^{いちおん}一音で語りかける

平凡社刊 B6変型判 112頁 定価：本体1200円（税別）

昨日より今日、今日より明日と今なお進化し続ける奇跡のピアニスト。4歳でデビュー、神童と謳われ、コルトー、ラフマニノフに師事し、一世を風靡した。類稀なる音の品格は、ピアノへの愛と幼少からの誰にも真似できない修練の賜物。名利に背を向け、ピアニズムの深奥と人間としての幸福を求めて「伝説の人」が歩んだ道とは一。ゆるぎないルースの言葉が今を生きる人を励まします。

ルース・スレンチェンスカ 1925年カリフォルニア生まれ。4歳で初リサイタル、続いてベルリン、パリ、ニューヨークでデビューし、モーツァルト以来の神童と絶賛を博す。14歳で挫折するも26歳でカムバック。世界中で3000回を超えるリサイタルを行い、ピアノの女王と讃えられる。2003年の初来日以来訪日10回、美智子上皇后とも連弾を楽しんだ。昨年の東京サントリー・ホール公演は大きな感動を呼んだ。

.....
—人生の先輩に聴く、言葉の宝物。語りおろし自伝—のこす言葉シリーズとは？

「言葉」は人をはげましてくれる。心にのこる言葉は、人に手渡すこともできる。人生の先輩が一つのことを極める上で、どんな知恵を積み重ねてきたのか。著者の生きた知恵を若いひとに、切実な言葉で伝える、珠玉の本の贈り物です。

- 同時刊行 中川李枝子（児童文学作家）、半藤一利（作家）
- 好評既刊 金子兜太（俳人）——私が俳句だ
野見山暁治（画家）——人はどこまでいけるか
大林宣彦（映画作家）——戦争などいらない - 未来を紡ぐ映画を
中村桂子（生命誌研究者）——ナズナもアリも人間も
三浦雄一郎（プロスキーヤー）——挑戦は人間だけに許されたもの
安野光雅（画家）——自分の眼で見て考える
- 以下続刊 澤地久枝（作家）、伊東豊雄（建築家）、黒沼ユリ子（ヴァイオリニスト）、松岡享子（児童文学研究者）、柚木沙弥郎（芸術家）他（*変更になる場合がございます）

御高覧いただき、書評、本をめぐる話題などでお取り上げいただけたら幸いです。

*お問合せは編集部：山本明子 Tel:03(3230)6583 / E-mail: akiko@heibonsha.co.jpまで。